

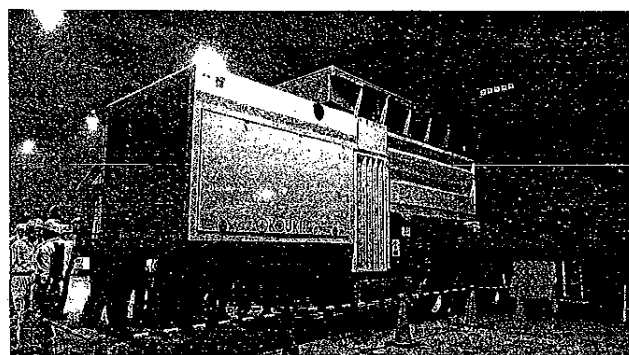


東部クリーンに 移動式破砕機

11月6日～荏原環境プラント（株）手配で

Metso 社製 M&J イータプレシュレッド 4000
【処理能力】118.83t/日 (14.23t/h×8h)

11/5(木) 東部クリーンセンターごみ焼却施設棟プラットホームに設置



(H27.11.5 撮影 環境事業政策課)

6日から東部クリーンセンターで可燃性粗大ゴミの処理のために移動式破砕機が運転開始しました。概ね16時以降に運転し、粗大ゴミの処理速度向上や作業安全確保を行なうとのことです。また、一時保管場所の逼迫防止が図られるとのことです。現在、保管粗大ゴミ約240tありますが、機械の処理能力は約113t/8hとのこと。

現場検証が継続中とのことですが、当面の課題としては、年末の粗大ゴミ繁忙期への対応方法、火災被害にあった施設の復旧のありかた、費用に関する問題等です。

当然ながら原因究明や再発防止もあります。

利用70%以上観光客

熊本市レンタサイクル

11月5日に熊本市自転車利用環境整備計画の視察に建設委員会として参加しました。自転車道の設置のために側溝の蓋幅を狭くし、自転車道面の平坦面を確保した整備方法を視察。河川堤防の内側への自転車道整備で通勤通学に利用が増えた事例も視察しました。レンタサイクルは、どこも採算的には大変のようです。熊本市は利用者の70%以上が観光客で、「交通政策としてのレンタサイクルより観光行政で所管すべきではないですか」と質問しましたところ、熊本市内部でも、それらしい議論はあるようでした。特に電動レンタサイクルは、熊本城など坂の多い観光地対策の面が強く感じられました。

連絡先 岐阜市会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500



松原のりかず
☎058-253-2500

公企審「意見一致を見た」 ではありません。料金値上げ

松原のりかず 下水道料金引上を反対、事業精査2年主張

11月2日、岐阜市公営企業経営審議会（会長・木村隆之岐阜経済大名誉教授）は市長に下水道料金平均 10.24%の値上げを答申しました。しかし、審議会の答申は全会一致ではありませんでした。答申案の提案された会議（11月29日）の1回前、「値上げか、値上げでないか」が実質審議された会議（11月20日）では、値上げ反対は、松原のりかず の他に公募委員1人、保留も公募委員に1人。異例なことでした。

意見は平行線でした。反対は少数意見として触れるが（答申文に）、答申は出すと、会長発言。29日（第7回）以前に答申案が郵送されて来ました。が、各所に「意見一致を見た」の記載があり、「反対意見を発言しているのに、『意見一致を見た』の表現は訂正してほしい」と29日の会議で指摘しました。

毎回の審議会で「北部Pの赤字約30億円の結果が下水道料金に影響している」ことは明らかと主張。2年かけて経営全体を見直すべきと主張。これは、水道部だけでなく、岐阜市全体にとっても大切なことです。

全委員15人だが、欠席多い審議会 最終回は出席9人

答申案審議の第7回は欠席6人、賛否を審議の第6回は欠席5人。過半数8人は確保されていたとはいえ、料金値上げの重要な審議です。値上げで、企業への影響も発言があったようですが、副会長で商工会議所代表の審議委員の参加が思わしくなかったように思える。個人事情もおありでしょう。出席困難の委員選定には、今後一考必要と。